

発達支援研究所ホームページ <https://smart-kids.co.jp/labo/>



### 題名 「いつもカラフル木場公園」

#### ♥作品解説♥

星やダイヤモンド、色もカラフル、塗り方も様々。  
敢えて全部違う、個性がいっぱいの作品になりました。

(スマートキッズプラス木場公園)

できることから始める<sup>ほうかつてき</sup>包括的性教育～子どもの健やかな成長を願って～

所長 中村 雅子

お子様のころ、からだ、性にかかわる心配ごとは、ありませんか？  
「今のところ、まったく、ない・・・」という方も、お読みいただき、必要になった時に、「きらっと」を利用していただけたらと思います。

子どもの性にかかわる心配事は、いろいろな生活場面でいろいろな形で起きているのではないのでしょうか。  
そして、「これは放っておいていいのかなあ？」それとも「教えた方がいいのかなあ？」と悩むことはないでしょうか。  
また、「教えたいけど、どう教えればいいのか分からない」、「市販の本を買って読んだけれど、難しくて・・・」という声をお聞きすることもあります。

#### ころ、からだ、性にかかわる心配なことはありますか？

- ☹️「まったく、ない！」
- ☺️「優しくて、誰にでも、親しみをもち、ついていく」
- ☺️「困ったことがあっても、大人に伝えようとする」
- ☺️「人前でパンツをぬぐ」「トイレに入る前にパンツをぬぐ」
- ☺️「人に急に近づく」「相手の顔のすぐ近くで話す」
- ☺️「急に人に抱き着く、人のシャツの中に手や頭を入れる」
- ☺️「衣服の着脱を自分でできるところもやらず、すべてひとまかせ」
- ☺️「中学生になったが、一人でお風呂に入れない、寝られない」
- ☺️「思春期のからだの変化を受け止められない」・・・

子どものころとからだの成長は、待ったなしです。皆様のご意見を踏まえ、研究所の所員が力を合わせて、包括的性(ほうかつてきせい)教育(きょういく)の講座を開設しました。

お聞きいただいた皆様からは、「とても有意義」「これからも続けてほしい」「思春期の性について、さらに詳しく聞きたい」など、多くのご感想をいただきました。皆様のニーズにおこたえし、これからも、改善を重ねながら続けていきたいと思えます。また、「きらっと」でも、その一端(いったん)をご紹介します、発達障害のある子どものための性教育について、オープンに話し合える環境をつくっていききたいと思えます。

さて、包括的(ほうかつてき)性教育という言葉は、あまり聞きなれないと思えます。これは、生殖のことだけでなく、人間のころとからだ、性にかかわる全体を含んだ性教育です。  
例えば、人間(にんげん)関係(かんけい)やジェンダー平等、性の多様性、性と幸福などの幅広いテーマを含みます。  
この包括的性教育の進め方の指針は、ユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に示されており、ネットを調べることも



(ITSE, International technical guidance on sexuality education)

国連教育科学文化機関・ユネスコ(UNESCO)  
国連合同エイズ計画(UNAIDS)  
国連人口基金(UNFPA)  
国連児童基金・ユニセフ(UNICEF)  
国連女性権限(UN Women)  
世界保健機関(WHO)

♥世界の国々の専門家の研究と実践を踏まえてつくられた。  
2009年初版、2018年改訂。

できます。

スマートキッズ発達支援研究所では、このガイダンスをもとに、発達障害の特性に応じて、具体的で分かりやすい教材を作成しています。右図のような「子ども編」「保護者編」「指導者編」の三部作です。保護者も、指導者も、子ども自身も、一緒に考え、意見を交わし、実践し、ふりかえることを大切にしたいと思っています。

発達障害のある子どもは、生活の中で繰り返し学習することで、理解しやすくなることが多いです。定期的にルールをリマインドし、実際の行動をフィードバックしてあげるとよいです。

そして、どんな時も、安心して話せる関係を大切に、ポジティブな強化に努めていくとよいでしょう。

子どもたちの性的発達をじょうずにサポートして、しあわせな人生を歩めるよう、みんなで取り組んでいきたいと思ひます。



#### <参考文献>

1 ユネスコ「国際(こくさい)セクシュアリティ教育ガイダンス」

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>

2 国立成育医療研究センター「まなブック」

監修：研究開発法人国立成育医療研究センター プレコンセプションケアセンター

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(女性の健康の包括的支援政策研究事業)保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究班(厚生労働科学研究荒田班) <https://marutto-woman.jp/>



#### <プロフィール>

スマートキッズ発達支援研究所 所長 中村雅子

私は、全国情緒障害教育研究会会長を5年間、設置校長を15年間務め、大学等で後進の育成に当たるとともに、国立成育医療研究センターの臨床研究員として、プレコンセプションケアの研究にかかわっています。(※全国情緒障害教育研究会は、1968年、自閉症児親の会全国協議会の結成と同年に創立された)

これまで多くの保護者の皆様と出会い、率直なご意見を伺ってきました。その多くが、卒業後、就労し、社会の中で人とかわり、生き生きと生きていくために、十分な教育ができているだろうかという不安でした。当研究所は、教育、医療、心理の経験豊かな専門家集団として、このような問いと真摯に向き合い、より有効な支援プログラムを開発し、その効果的な活用法を開発していきたいと思ひます。また、学校(園)と放課後等デイサービス・児童発達支援等の連携を図り、子どもたちの健康づくりやキャリア形成、遊びや余暇など、豊かな生活づくりにつながる実践を推進してまいります。